

## 卓 話

平成 25 年 5 月 14 日

### 「額縁の話」

副会長 加藤義明

先日、プライベートの旅行で仲間 8 名と一泊で東京見物に行き、銀座にある三井ガーデンホテルに宿泊した時のことですが、16 階のロビーに到着すると、そこには 201 号～100 号位の抽象画の油絵やアクリル画が 7、8 点飾ってあったのですが、その全てに額



装がされておらず作品のみが飾ってある状態でした。額縁を商う者としては少なくとも細いエッジでも付いていればまだ納得できたのですが、少々ショックな出来事でありました。

ロビーの絵画を見て仲間の一人が「この絵わかる？」と私に聞いてきたので「わかりませんねえ」と答えてしまいました。絵画の良し悪しがわからないのでは無く、額装されていない作品がロビーに飾ってあることがわからないと言いたかったのですが・・・。

額装をしない状態での作品の展示も場合によっては映えることもありますが、ホテルのロビーというのは色々な職業や人種の人々が不特定多数行き交う場所です。そういった場所でこの様な展示をすると、人々に「絵画を飾るのに額縁が無くて良い」と認識され、そういった展示が常態化してしまうことになり兼ねないかと不安になってしまいます。